

醒めて起て!



人材の開発とは、「新たな自分の発見」からではなく始まらない!

チームスポーツ競技の構造と機能を活用したマネジメント道場

文武両道場・デュアルチャレンジプログラム

— 意思決定を通して、自分と向き合う —



株式会社Waisportsジャパン（筑波大学発ベンチャー）

醒めて起て!



人材の開発とは、「新たな自分の発見」からでしか始まらない!

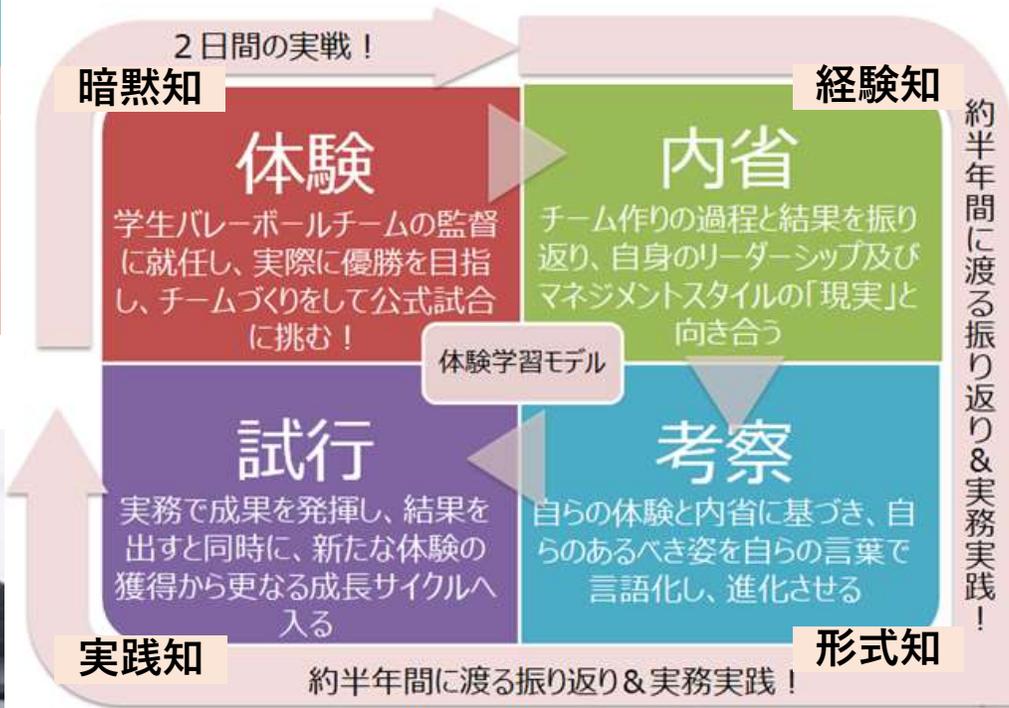
# チームスポーツ競技の構造と機能を活用したマネジメント道場 文武両道場・デュアルチャレンジプログラム



— 意思決定を通して、自分と向き合う —

ミドルマネジメント層人材の資質や能力はそれぞれ遺憾なく発揮されているか?そして真の成長を育む場はあるか?

人は自分事として挑戦した成功失敗体験でしか真の力発見、力発揮、そして真の成長も見込めない。  
本道場では、実際に「自分の組織」を持ち、「自分の意思」で「自分が決定」しながら勝負の世界に挑み、  
そこでの実戦体験を通じて「**自分で成長**」する力を覚醒させていくことを支援する。



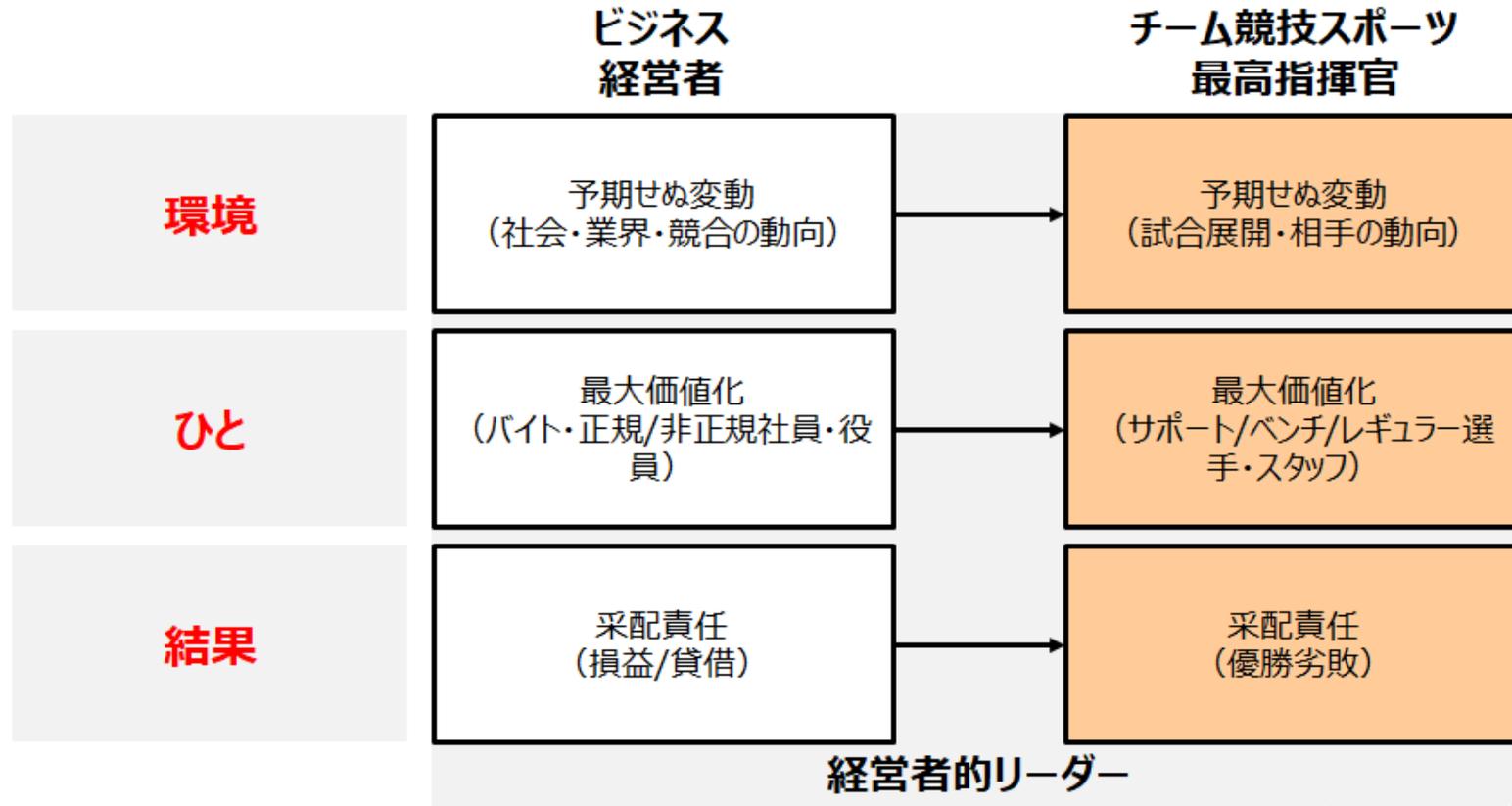
Good Sports, Good Future!

※本コンテンツは(株)Waisportsジャパンに帰属するものです。

# [プログラム概要（主たる体験アクティビティ）]

バレーボールチームの最高意思決定権者となり、「チームの優勝と選手の高い満足度」の獲得を目指して、実際に「選手のマネジメント」、「チームの構成」、「意思決定」というビジネスシーン同様の体験をする。この体験を教材とし、半年かけて様々な角度/深度から自分と向き合い、自らのリーダーシップやマネジメントを進化させる。

チーム競技スポーツの最高指揮官はビジネスの経営者同様に、  
答えのない中で、いかなる「環境・ひと・結果」とも向き合い、意思決定し、  
 チームメイトを巻き込んでいかなければならない日々で、常に追い込まれている



# [プログラム概要 (4つの体験アクティビティ)]

意思決定と結果

分析と説明責任

行動と思考の矛盾調整

挑戦と実行責任

## 体験

競技で実践

## 内省

分析・解析・構造化

## 考察

概念化・普遍化

## 試行

実務で実行



暗黙知

経験知

形式知

実践知

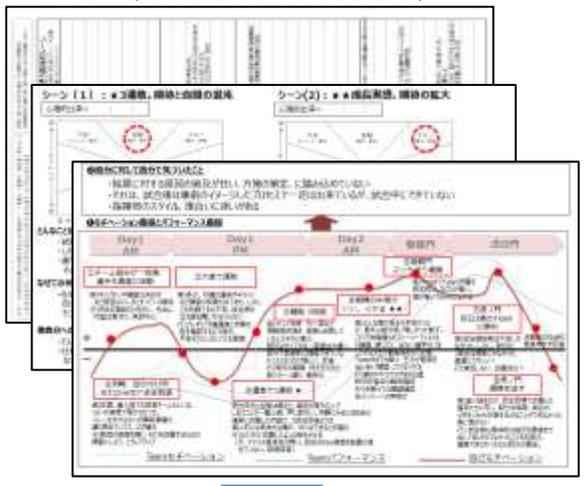
**選手・チームと向き合い、自分を発揮**  
 競技専門知識がない中、寄せ集め集団を「優勝を目指す」組織へと作りあげていく。自身の「リーダーシップ」と「マネジメントスタイル」の発揮

**結果と向き合い、因果を知る**  
 各種客観データをもとに、自らの「意思決定」と「人の動き」に関する「因果関係」を分析（チームのPL、BS、選手関係性等）

**自分と向き合い、自分を知る/発見する**  
 各種客観データ、主観的データをもとに、自らの行動、思考、感情の係数を読み取り、新たな視点で見つめなおす。（能力資質、行動特性等）

**新自分を新発揮**  
 自身の進化した「リーダーシップ」と「マネジメント」を発揮し、トライする。その中で再度内省・考察を繰り返し、絶えず進化させていく

- ・ 得点を稼ぎ、失点を抑える
- ・ 予期せぬ環境変動と向き合う（試合展開・相手動向）
- ・ ひとと向き合う、資質能力の発掘と最大価値化（先発・控えほか）
- ・ 結果と向き合う（優勝劣敗）
- ・ 答えのない中、様々な存在と向き合い、意思決定していく
- ・ 現場事象における**因果関係が明確な中で様々な情報収集と分析**をしていく



- ・ 収入を稼ぎ、支出を抑える
- ・ 予期せぬ環境変動との向きあう（社会・業界・競合の動向）
- ・ ひとと向き合う、最大価値化（正規・非正規・役員・バイト・顧客等々）
- ・ 結果と向き合う（損益業績）
- ・ 答えのない中、様々な存在と向き合い、意思決定していく
- ・ 現場事象における**因果関係が不明瞭な中で様々な情報収集と分析**をしていく

Output1

選手の**高い満足度**と**チーム優勝**の両立実現に挑戦

Output2

戦績分析レポート作成

Output3

自己分析レポート作成

Output4

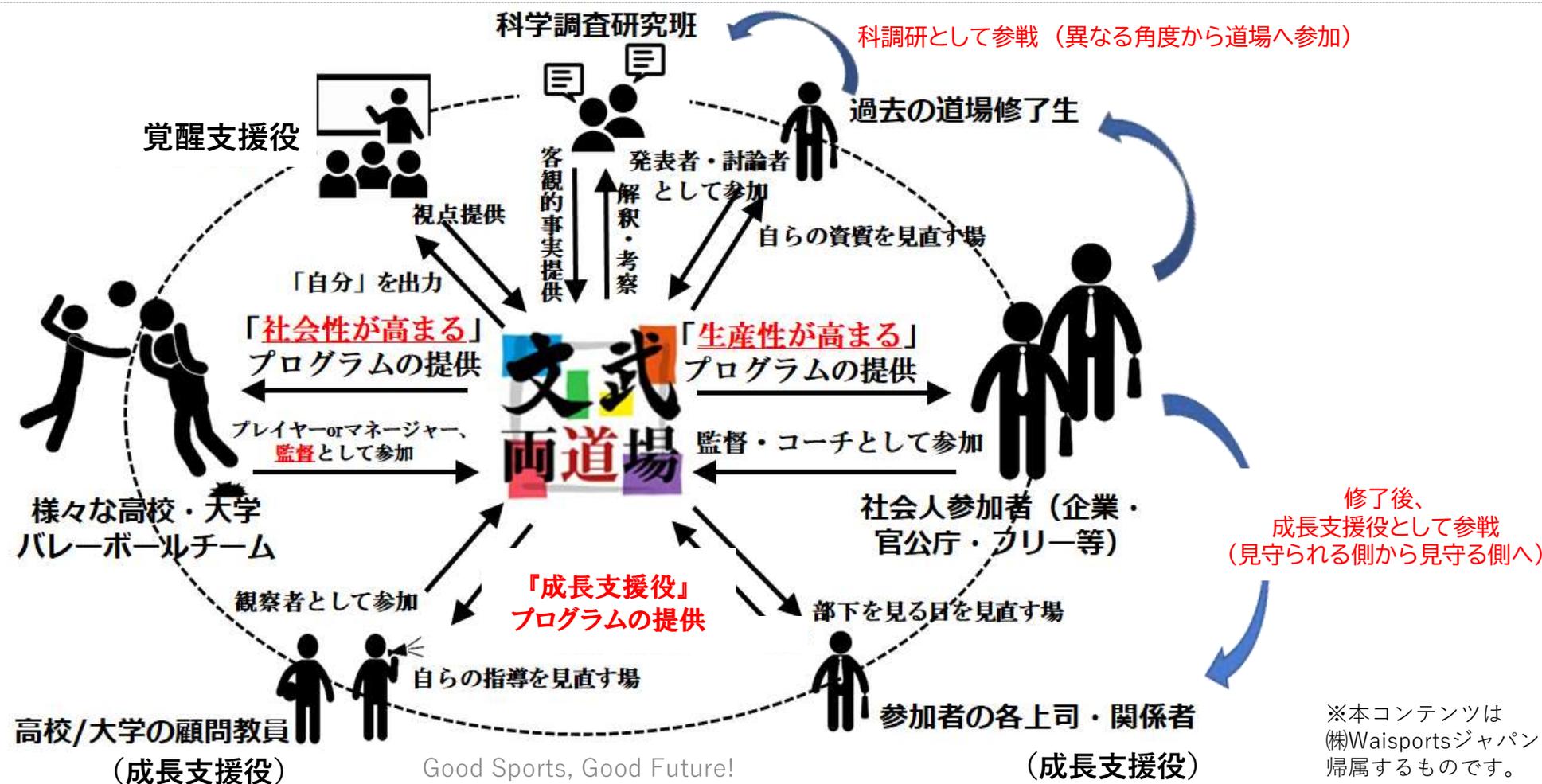
実務実践及び実践レポート作成

人としての成長・実務パフォーマンスの伸長

# [プログラム概要（全体像）]

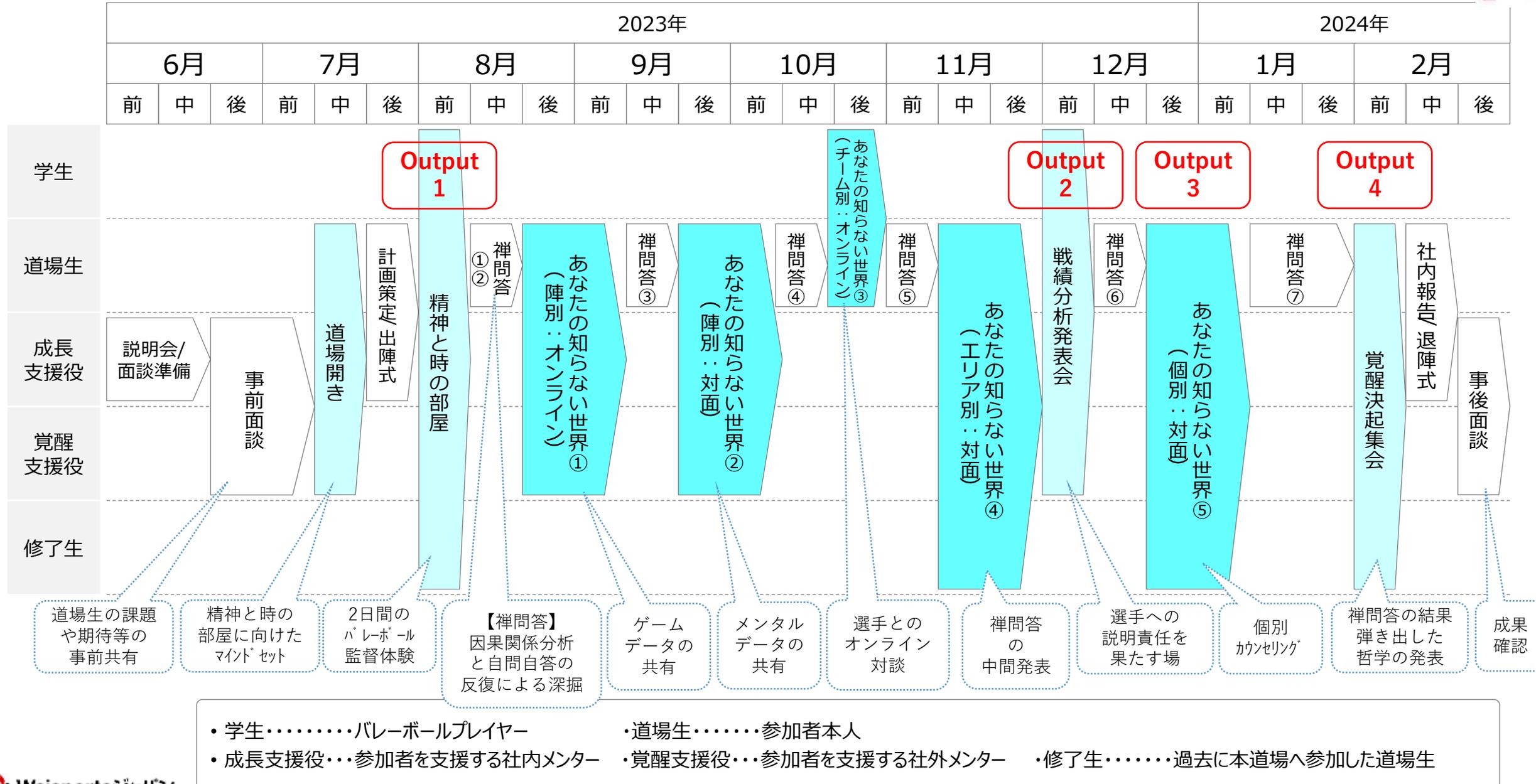
本道場では、集団（寄せ集めの競技バレーボールチーム）の最高意思決定権者として実際にチームを創り、競技会に参戦して、「チームの優勝」と「選手の高い満足」の両立に挑む環境を用意した。このプログラムの狙いは、参加者が、自分で自分（**リーダー★**としての素養、**マネジメント**のスタイル）を知り、**自分で自分を「見直し」/「変えていく」力を引き出していくこと**で、実務力を実際に高めていくことに集約される。

目的	経営者的リーダーとしての器を磨き、実務におけるパフォーマンスを高めること
目標	経営者的リーダーとして挑戦し、結果（チーム優勝・選手満足度）を出し、成果を上げ、自らの中で覚醒した新たな独自のリーダー像について、魂の格言を力強く弾き出すこと



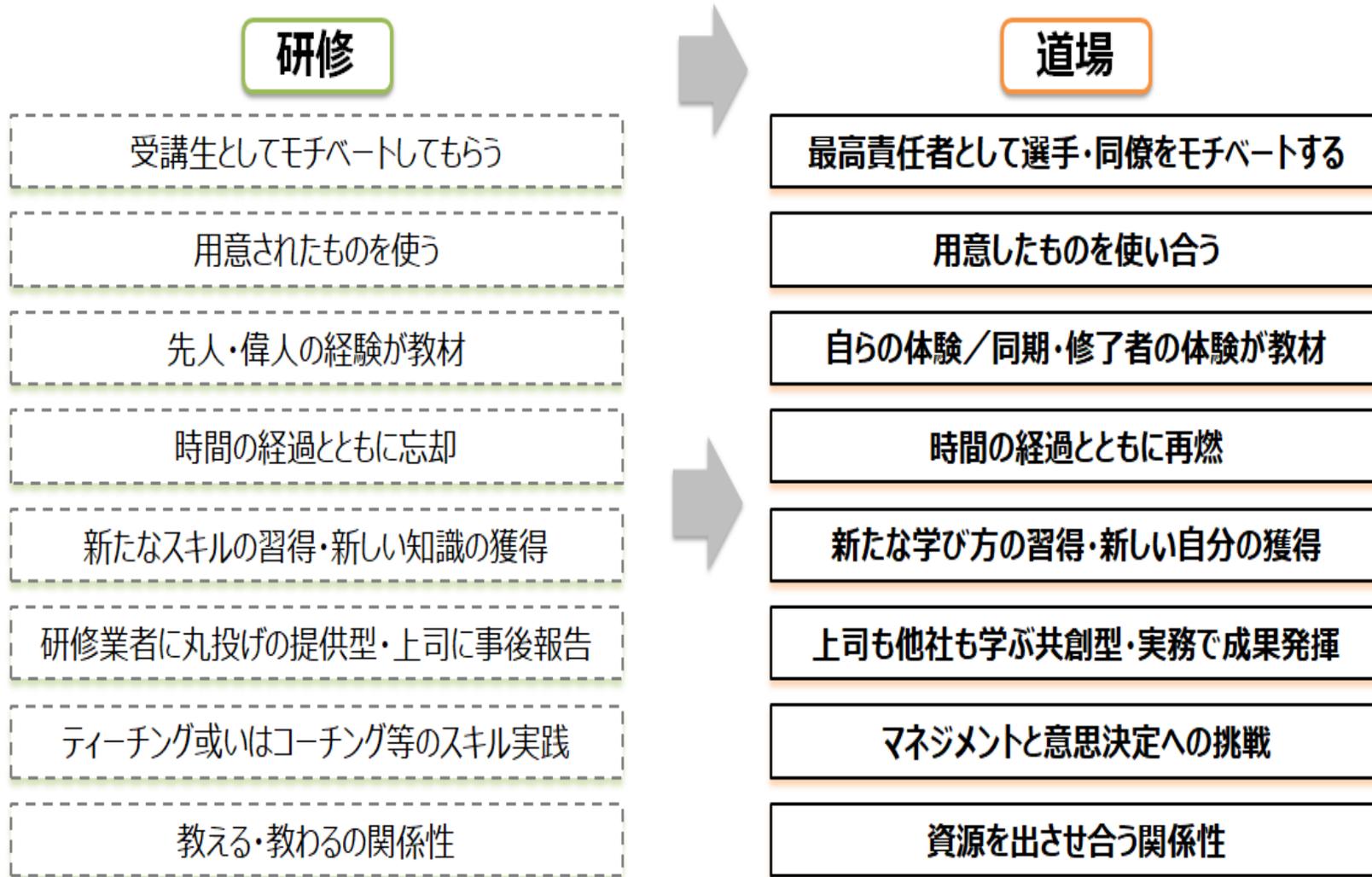
※本コンテンツは (株)Waisportsジャパンに 帰属するものです。

# [プログラム概要（日程）]



# [プログラム特徴]

## 『 研修ではなく道場 』



# [プログラム波及効果]



異業種連携による  
事業開発

部下と上司の  
新しい関係性

資質・特性発掘  
による配置最適化

科学調査研究班

覚醒支援役

過去の道場修了生

発表者・討論者  
として参加  
客観的事実提供  
解釈・考察  
自らの資質を見直す場

「自分」を出力

「生産性が高まる」  
プログラムの提供

「社会性が高まる」  
プログラムの提供

文武  
両道場

監督・コーチとして参加

プレイヤーorマネージャー、  
監督として参加

社会人参加者（企業・  
官公庁・フリー等）

様々な高校・大学  
バレーボールチーム

部下を見る目を見直す場

聴講・討論者として参加

観察者として参加

自らの指導を見直す場

参加者の各上司・関係者

高校/大学の顧問教員

成長支援役！

地域人材開発と  
地方創生

人材開発の  
改革プロジェクト  
チーム

幹部職前の  
予備体験  
(海外赴任等)

# [参加企業・自治体]



エイバックス株式会社 株式会社ルネサンス 三晃金属工業株式会社 医療法人仁泉会 みやぎ健診プラザ 医療法人幸信会 株式会社 山下PMC  
 BANBOOCLUB 株式会社サッポロライオン ANAエアポートサービス株式会社 株式会社バルニバービ 全日本空輸株式会社  
 株式会社 北海道日本ハムファイターズ 株式会社 坂東太郎 株式会社 本田技術研究所 横河レンタ・リース株式会社 三菱地所株式会社  
 茨城県自治研修所 公益財団法人日本財団 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社 株式会社ゼビオホールディングス 株式会社岩手朝日テレビ  
 アイバイオテック株式会社 石引会計事務所 株式会社ジャパネットホールディングス キュービーネット株式会社 トヨタL & F 岩手株式会社  
 株式会社バアレン醸造所 株式会社村田製作所 岩手トヨタ自動車株式会社 株式会社東北銀行 株式会社スマートバリュー 株式会社 ボーネルンドほか

# [メディア掲載実績]

## ◆ テレビ放映

<国内>

テレビ東京 ワールドビジネスサテライト (2018年8月1日)

NHK おはよう日本 (2018年8月6日)

<海外>

NHK WORLD-JAPAN (2018年9月3日)

Channel Japan (2018年9月16日)

## ◆ 新聞掲載

日経新聞 (2018年9月18日)

盛岡タイムス (2019年8月14日)

## ◆ 雑誌掲載

日経BP社 トップリーダー (2018年11月号)

「女子高バレー部の監督体験 不測の状況を打開する管理職研修」

ベースボールマガジン社 コーチング・クリニック (2019年10月号)

「実践型研修プログラムから考える、よきチームをつくる組織論」

企業と人材 (2019年11月号、12月号) 「私がバレーチームの監督に!？」

ベースボールマガジン社 コーチング・クリニック (2020年5月号)

「選手の個性を引き出すチームビルディング」

## ◆ WEB掲載

IT mediaビジネスオンライン (前編：2019年10月24日、後編：2019年10月30日)

